FEATHER2005 V2
操作マニュアル

canopus

ご注意

(1) 本製品の一部または全部を無断で複製することを禁止します。
(2) 本製品の内容や仕様は将来予告無しに変更することがあります。
(3) 本製品は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気付きの事がございましたら、当社までご連絡ください。
(4) 運用した結果については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
(5) ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。
(6) 本製品付属のソフトウェア、マニュアル、その他添付物を含めたすべての関連製品に関して、解析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアッセンブリを禁じます。
(7) カノープス、CANOPUS/カノープスおよびそのロゴは、カノープス株式会社の登録商標です。
(8) Microsoft、Windows、Windows Media、およびInternet Explorerは米国マイクロソフト・コーポレーションの商標または登録商標です。
(9) iEPGおよびiEPGロゴは、ソニー株式会社の商標です。
(10) DivXおよびDivX Proロゴは、アメリカ合衆国・その他諸国におけるDivXNetworks社の商標または登録商標です。
(11) MediaArtistは松下電器産業株式会社の登録商標です。
(12) NeroおよびNero Digitalは、Ahead Software AG社の商標、または登録商標です。
(13) CDDBおよびMusicIDは、Gracenote社の登録商標、または商標です。
(14) その他の商品名やそれに類するものは各社の商標または登録商標です。

表記について

■ 本書はアプリケーションの操作方法について説明しています。セットアップ手順は、別冊のセットアップマニュアルをご参照ください。また、各種設定については、別冊のリファレンスマニュアル（PDF形式）をご参照ください。
■ 本書はFEATHER2005 V2を使用する製品の共通マニュアルとなっています。製品によっては、仕様により搭載されていない機能があります。
■ 本書に記載されていない情報が記載される場合がありますので、ディスクに添付のテキストファイルも必ずお読みください。
■ 本書での説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。
■ 本書はパソコンの基本的な操作を行うことができる方を対象に書かれています。特に記載の無い操作については、一般的なパソコンの操作と同じように行ってください。
■ 本書ではMicrosoft® Windows® XP operating system、Windows Media Video、Windows Media Audioを、それぞれWindows XP（Home EditionおよびProfessionalの総称）、WMV、WMAと表記します。
■ 説明の便宜上、実際の製品とイラスト及び画面写真が異なる場合があります。

警告

■ 健康上のご注意

ごくまれに、コンピュータのモニタに表示される強い光の刺激や点滅によって、一時的にてんかん・意識の喪失などが引き起こされる場合があります。こうした経験をこれまでにされたことがない方でも、それが起こる体質をもっていることも考えられます。こうした経験をお持ちの方や、経験をお持ちの方の血縁にあたられる方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。

■ 著作権について

テレビ放送やビデオなど、他人の作成した映像/音声をキャプチャしたデータは、動画、静止画に関わらず個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。また、個人として楽しむ目的であっても複製が制限されている場合があります。キャプチャしたデータのご利用に対する責任は当社では一切負いかねますのでご注意ください。

個人情報の取扱いについて

当社では、 原則として①ご記入いただいたお客様の個人情報は下記の目的以外では使用せず、 ②下記以外の目的で使用する場合は事前に当該サービス上にてお知らせいたします。 当社ではご記入いただいた情報を適切に管理し、 特段の事情がない限りお客様の承諾なく第三者に開示 ・ 提供することはございません。

(1) ご利用の当社製品のサポートの実施
(2) 当社製品の使用状況調査、 製品改良、 製品開発、 サービス向上を目的としたアンケートの実施
＊ 調査結果を当社のビジネスパートナーに参考資料として提供することがありますが、 匿名性を確保した状態で提供いたします。
(3) 銀行口座やクレジットカードの正当性、 有効性の確認
(4) ソフトウェアのバージョンアップや新製品の案内等の情報提供
(5) 懸賞企画等で当選された方お客様への賞品の発送
＊ お客様の個人情報の取扱いに関するご意見 ・ お問い合わせは、 http://www.canopus.co.jp/info/ までご連絡ください。

サポートについて

● ご使用方法や、この内容につきまして不明な点、疑問点などがございましたらカノープス株式会社テクニカルサポートまでお問合せください。

■ お問合せの前には必ず以下の内容をご準備の上、お問合せください。

(1) ご使用になっておられるパソコンの名称型番
- ・メーカー製の場合
  →メーカー名と型番
- ・自作、オーダーメイドの場合
  →マザーボード型番、CPU、チップセット、サウンドボード、グラフィックボード

(2) オペレーティングシステム(Windowsなど)のバージョン
(3) ハードディスクの容量、メモリの容量
(4) 他に取り付けられている拡張ボードのメーカー名と製品名
(5) 周辺機器があればそのメーカー名と製品名
(6) 他に併用している当社製品があれば製品名とバージョン番号

■ Webからのお問合せ

- ・よくあるお問合せ(http://www.canopus.co.jp/tech/faq/faq.htm)をまずご確認ください。
- ・よくあるお問合せで対応策が見つからなかった場合、ご購入後のお問合せ(http://www.canopus.co.jp/tech/contact2.htm)をご覧ください。

■お電話でのお問合せ

テクニカルサポート
TEL.078-992-6830 (10:00 ～ 12:00、13:00 ～ 17:00)
※土、日、祝日および当社指定休日を除く

FEATHER2005 V2
操作マニュアル
April 14, 2005

目次

TVモードを使ってみよう！

Networkモードを使ってみよう！

困ったときには

機能一覧対応表

TVモードをお使いいただくには、FEATHER2005 V2対応の当社チューナー製品が必要です。
対応機種の最新情報については、当社ホームページ http://www.canopus.co.jp をご覧ください。

FEATHER2005 V2のご紹介

FEATHER2005 V2には、パソコンに保存された動画、静止画、音楽や、CDあるいはDVDディスクの映像・音楽をパソコン上でお楽しみいただける便利な機能が用意されています。
本ソフトウェアには以下のような6種類の動作モードがあり、メニュー画面には各動作を意味するアイコンとして表示されています。

Videoモード
パソコンに保存された動画を再生したり、DVDビデオを作成できます。
操作説明は、7ページからです。

CD/DVDモード
CDあるいはDVDディスクの映像および音楽をパソコン上で再生できます。
操作説明は、35ページからです。

Musicモード
パソコンに保存された音楽を再生したり、オーディオCDを作成できます。
操作説明は、19ページからです。

TVモード
MTVXシリーズを装着したパソコンでテレビ番組を視聴・録画できます。
操作説明は、41ページからです。

Photoモード
静止画のスライドショーを実行したり、BGM付きのアルバムを作成できます。
操作説明は、27ページからです。

Networkモード
ネットワーク経由で動画や音楽、写真、テレビを見ることができます。
操作説明は、59ページからです。

FEATHER2005 V2を起動するには

1.

デスクトップのアイコンをダブルクリックします。

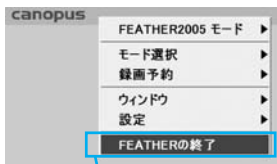
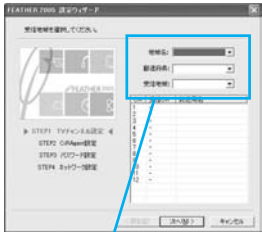
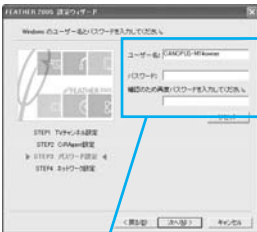
または、[スタート]メニュー→[すべてのプログラム]→[Canopus FEATHER]→[FEATHER]を選びます。

2.

FEATHER2005 V2のメニュー画面が表示されます。

- 別売のリモコン(CRMシリーズ)をご使用の場合は、POWERボタンを押してください。
- 各動作モード画面で画面右下の[メニュー]をクリックすると、メニュー画面に戻ります(リモコンの場合は、L2ボタンを押します)。
- 初めてFEATHER2005 V2を起動したときに設定ウィザードが表示された場合は、「初めて起動したとき」(5ページ)をご覧ください。

FEATHER2005 V2を終了するには

1 FEATHER2005 V2の画面上で右クリックします。

2 [FEATHERの終了]を選びます。

- 別売のリモコン(CRMシリーズ)をご使用の場合は、POWERボタンを押してください。
- メニュー画面右上の[×]ボタンをクリックしてもFEATHER2005 V2を終了できます。

初めて起動したとき

当社チューナー製品（MTVX シリーズ）をパソコンに装着している場合、FEATHER2005 V2 を初めて起動すると設定ウィザードが表示されますので、次の手順にしたがい設定を行ってください。

1.

受信チャンネルを設定します。お住まいの地域を選択したあと［次へ］ボタンをクリックします。

2.

各項目を設定したあと、［OK］ボタンをクリックします。

3.

Windows のパスワードを設定し、［次へ］ボタンをクリックします。

4.

ネットワークのワークグループ名を入力し、［完了］ボタンをクリックします。

追加情報

- TV モードや Network モードをご使用にならない場合は、設定する必要はありません。
- これらの内容は、後から［FEATHER 設定］画面で設定できます。詳しくはリファレンスマニュアル（PDF）の第 1 章「準備」または第 4 章「■［ネットワーク設定］」をご覧ください。
- 当社チューナー製品がパソコンに装着されていない場合、設定ウィザードは表示されません。

Videoモードでできること

FEATHER2005 V2のVideoモードでは、動画ファイルに関する操作を行います。

- DVDビデオの作成、DVDへのバックアップには記録型DVDドライブが必要です。
- CDへのバックアップには、記録型CDドライブが必要です。
- ライブラリにはマイドキュメントのマイビデオ内にある動画ファイルが自動的に登録されます。特定のファイルを再生するには、MEDIA LIBRARYメンテナンスモードでファイルを登録する必要があります。詳しくはリファレンスマニュアル（PDF）の「2-1 MEDIA LIBRARYを使いこなす」をご覧ください。

Video モード表示画面

Video モードで動画を再生すると、次の画面が表示されます。

canopus

V05_001m

0:00:11 | 0:00:36

動画のファイル名を表示します。

表示している映像を静止画としてキャプチャします。

音量を増減します（リモコン：上／下ボタン）。

ツールメニューを表示します（リモコン：L1 ボタン）。

メニュー画面を表示します（リモコン：L2 ボタン）。

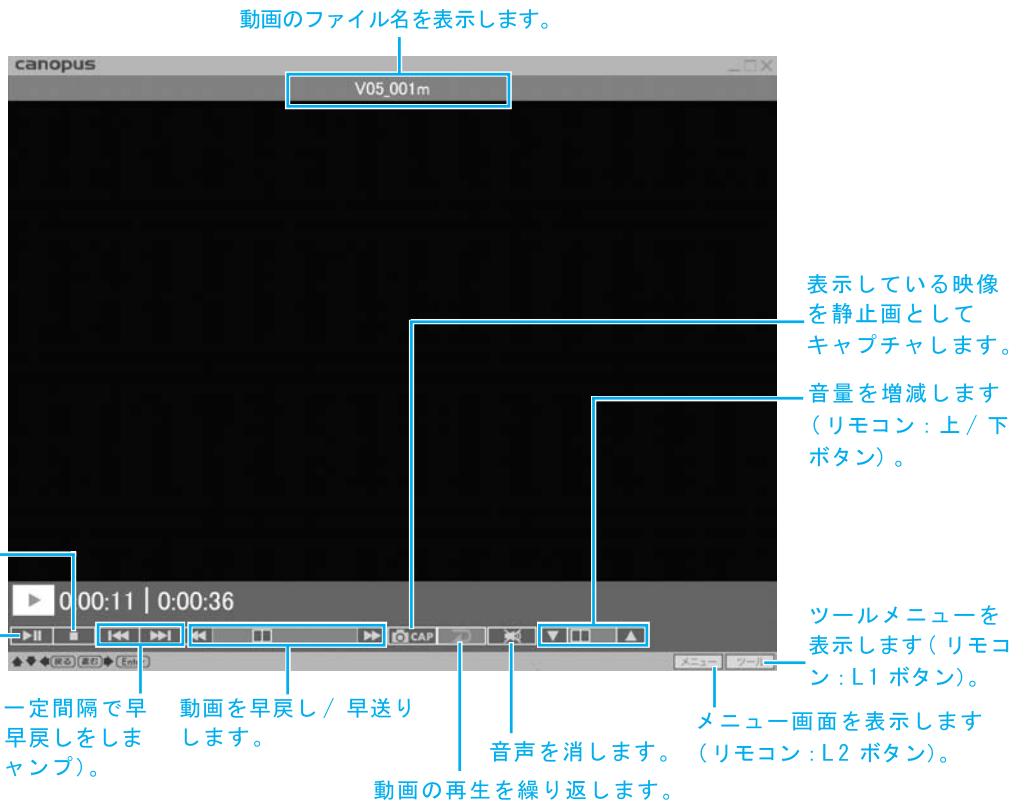
動画を停止します。

動画を再生（一時停止）します。

動画を一定間隔で早送り／早戻しをします（ジャンプ）。

動画を早戻し／早送りします。

音声を消します。

動画の再生を繰り返します。

スキップポイント編集画面

Video モードで[スキップポイント編集]を選ぶと、次の画面が表示されます。

動画のファイル名を表示します。

F2005-04-11_111828.mpg

動画を操作します。

- : 早戻し
- : 一時停止
- : 早送り
- : 次のポイントへ
- : 前のポイントへ

スキップポイント（IN 点）

タイムコードとフレームを表示します。

0:07:14.506 [13012]

スキップポイント（OUT 点）

フレーム単位で移動します。

開始（IN）点と終了（OUT）点を追加します。

編集を終了します。

スライダー

メニュー画面を表示します（リモコン：L2 ボタン）。

ツールメニューを表示します（リモコン：L1 ボタン）。

動画を再生する

パソコンのハードディスクに記録された動画を表示します。リストには再生可能な動画のみ表示されます。表示されていない動画は再生できないファイル形式です。

1.
Video モードを選び、右へ進みます。

2.
日付、カテゴリなどを選び、右へ進みます。

3.
再生する動画を選び、右へ進みます。

4.
[再生]を選ぶと、動画の再生を開始します。

- コピーワンス信号付きテレビ放送を録画した場合、録画したFEATHER2005 V2でのみ再生できます。詳しくは「困ったときには」の「■コピーワンス（CGMS-A）録画対応について」（77ページ）をご覧ください。
- 再生中に早送りや巻き戻しをすると、その位置をスキップポイントとして記憶し、次回再生時には、その場面を飛ばして再生します。スキップポイントをクリアする方法については、「スキップポイントを修正する」（16ページ）をご覧ください。

動画からDVDビデオを作成する

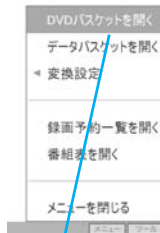
動画をメニュー画面・チャプター付きDVDビデオとしてディスクに記録します。記録したDVDディスクは、市販のDVDプレーヤーで再生できます。

1.

Videoモードで DVDビデオにしたい動画を選び、右へ進みます。

［DVDバスケットへ追加］を選ぶ

2.

[DVDバスケットへ追加]を選びます。さらに動画を追加するには手順1-2を繰り返します。

［DVDバスケットを開く］を選ぶ

3.

動画を選び終わったら、ツールメニューから［DVDバスケットを開く］を選びます。

［書き込み］を選ぶ

4.

バスケットの内容を確認したあと、ツールメニューから［書き込み］を選びます。

- 動画は選んだ順番に並べられます。あとから動画の順番を変更することはできません。
- スキップポイントが設定された動画を選ぶと、スキップポイント間の映像のみが書き出され、場面が転換する位置にチャプターがつきます。
- 当社チューナー製品MTVX-WHFをお使いの場合は、容量が4.7GBを超えた場合でも、自動的に4.7GBに収まるように変換されます。

パソコンの動画をCD/DVDにバックアップする

パソコンのハードディスク内に保存されている動画を、CDディスクやDVDディスクにオリジナルのファイル形式のまま記録します。

1

Videoモードでバックアップしたい動画を選び、右へ進みます。

［データバスケットへ追加］を選ぶ

2

［データバスケットへ追加］を選びます。さらに動画を追加するには手順1-2を繰り返します。

［データバスケットを開く］を選ぶ

3

動画を選び終わったら、ツールメニューから［データバスケットを開く］を選びます。

［書き込み］を選ぶ

4

バスケットの内容を確認したあと、ツールメニューから［書き込み］を選びます。

追加情報

- 動画は選んだ順番に並べられます。あとから動画の順番を変更することはできません。
- 書き込み可能な容量を超えている場合は、書き込み時にエラーが表示されます。書き込むビデオを減らして再度お試しください（書き込み可能な最大時間は、データにより異なります）。

動画をカテゴリ別に管理する

動画をカテゴリ別に分類します。

1.

Video モードでカテゴリを変更したい動画を選び、右へ進みます。

2.

[カテゴリの変更] を選びます。

3.

目的のカテゴリを選びます。

カテゴリの種類を追加したい場合は、MEDIA LIBRARY のメンテナンスモードを使います。詳しくはリファレンスマニュアル（PDF）の「2-1 MEDIA LIBRARY を使いこなす」をご覧ください。

動画を別形式に変換する

動画を別のフォーマットに変換します。

1

Videoモードで、フォーマットを変換したい動画を選び、右へ進みます。

2

ツールメニューから[変換設定]を選び、フォーマットと画質を選びます。

3

[変換]を選びます。

- FEATHER2005 V2 Premium Editionをお使いの場合は、「MPEG4(Nero Digital)」に変換できます。
- 「DivX」、「WMV」、「SD-Video」に変換するには、別売のX Packシリーズまたは変換キットが必要です。

お好みの場面を写真として保存する

映像の一場面を静止画ファイルとして保存します。

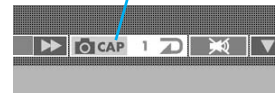
1.

Video モードを選び、右へ進みます。

2.

再生する動画を選び、右へ進みます。

3.

[再生]を選び、動画を再生します。

4.

写真にしたい場面でキャプチャボタンを押します。

・静止画は、「BMP」形式でマイピクチャに保存されます（初期設定）。「JPEG」形式で保存したり、保存場所を変更するには、[FEATHER設定]画面で設定を変更します。詳しくはリファレンスマニュアル（PDF）の第４章「■[保存先]」をご覧ください。

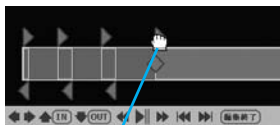
・別売のリモコン（CRMシリーズ）をお使いの場合は、R2ボタンを押します。

スキップポイントを修正する

スキップポイントとは、CM 検出時や動画再生中に早送り・早戻しをした際に設定された開始（IN）点、終了（OUT）点のことです。スキップポイントは、フレーム単位で設定できます。

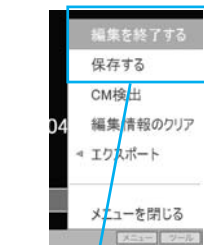
［スキップポイント編集］を選ぶ

1

Video モードで動画を選び、[スキップポイント編集] を選びます。

スキップポイントをドラッグする

2

バーが表示されますので、スキップポイントを前後にドラッグして位置を修正します。

スキップポイントをすべて削除するには、ツールメニューから[編集情報のクリア]を選びます。

［保存する］または［編集を終了する］を選ぶ

3

修正後は、ツールメニューから[保存する] または[編集を終了する] を選びます。

追加情報

- スキップポイントを追加するには、スライダーを追加する場面へ移動させ、[IN]または[OUT]ボタンをクリックします。スキップポイントを削除するには、スキップポイントをクリックします。
- [メニュー]でメニュー画面に戻ってしまったときは、ツールメニューから[スキップポイント編集を再開する]を選ぶと編集画面に戻ることができます。

CMを検出してカットする

映像の中から自動的にCMの場面を検索し、その部分を飛ばして再生します。場面を飛ばして再生するだけですので、元データから削除されるわけではありません。

［スキップポイント編集］を選ぶ

1. Videoモードで動画を選び、［スキップポイント編集］を選びます。

［CM検出］を選ぶ

2. ツールメニューから［CM検出］を選びます。CM場面の検出が始まります。

［OK］を選ぶ

3. 検出が終了すると上記画面が表示されますので、［OK］を選びます。

4. バーにスキップポイントが自動的に設定されます。

- スキップポイント間の黒い部分をCMとして認識します。
- CM以外の場面をCMとして検出する場合があります。一度映像を再生し、検出結果を確認してください。検出結果を修正するには、「スキップポイントを修正する」（16ページ）をご覧ください。
- FEATHER2005 V2 Premium Edition以外をお使いの場合は、CM自動検出拡張キットが必要です。

プロジェクトファイルを書き出す

スキップポイント編集した映像を、当社製品の「超編Ultra Edit」用のプロジェクトファイル（拡張子.dvc）として保存します。

編集後の動画を選びます。

［スキップポイント編集］を選ぶ

［超編プロジェクト］を選ぶ

1

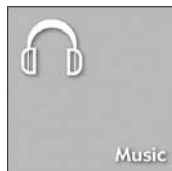
Videoモードで編集後の動画を選びます。

2

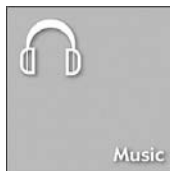
［スキップポイント編集］を選びます。

3

ツールメニューの［エクスポート］から［超編プロジェクト］を選びます。

- FEATHER2005 V2で設定したスキップポイントをIn点とOut点としてプロジェクトファイルを書き出しますので、「超編Ultra Edit」で編集が容易に行えます。
- 書き出したファイルは、マイドキュメントのマイビデオ内に保存されます。

Music モードでできること

FEATHER2005 V2 の Music モードでは、音楽に関する操作を行います。

- CDからパソコンへの録音については、「CDからパソコンに録音する」(38ページ)をご覧ください。
- オーディオ CD の作成や CD へのバックアップには記録型 CD ドライブが必要です。
- DVD へのバックアップには記録型 DVD ドライブが必要です。
- 音楽を聴きながらスライドショーを再生するには、再生中にメニュー画面を表示し、Photo モードで[スライドショーの開始]を選択してください。
- ライブラリにはマイドキュメントのマイミュージック内にある音楽ファイルが自動的に登録されます。特定のファイルを再生するには、PHOTO/MUSIC メンテナンスモードでファイルを登録する必要があります。詳しくはリファレンスマニュアル (PDF) の「2-2 メディア管理ツールを使いこなす」をご覧ください。

Musicモード表示画面

Musicモードで音楽ファイルを再生すると、次の画面が表示されます。

曲の再生を停止します。

曲を再生（一時停止）します。

前の曲／次の曲に移動します。

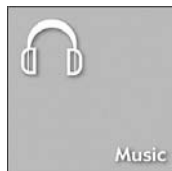
曲を早戻し／早送りします。

曲の再生を繰り返します（リモコン：R1ボタン）。

音声を消します。

音量を増減します。（リモコン：L3ボタンで音量が上がり、R3ボタンで下がります）。

メニュー画面を表示します（リモコン：L2ボタン）。

ツールメニューを表示します（リモコン：L1ボタン）。

曲を再生する

パソコンのハードディスクに記録された曲を再生します。

1.

Music モードを選び、右へ進みます。

2.

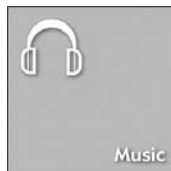
アルバムやジャンルなどを選び、右へ進みます。

3.

再生する曲を選び、右へ進みます。

4.

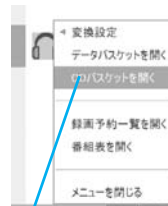
[再生]を選ぶと、曲の再生を開始します。

- リストにはFEATHER2005 V2で再生可能な曲名のみ表示されます。表示されていない曲はFEATHER2005 V2で再生できないファイル形式です。
- インストール後に初めてMusicモードを選んだときに、マイミュージック内に音楽ファイルが存在しない場合は「音楽ファイルの検索を行いますか？」というメッセージが表示されます。[実行]を選ぶと、ハードディスク内の音楽ファイルを検索してライブラリに登録します。

お好みの曲を集めてオーディオCDを作成する

曲をオーディオCDとしてディスクに記録します。記録したCDディスクは、市販のCDプレイヤーで再生できます。

1. Musicモードでオーディオ CDにしたいアルバムを選び、右へ進みます。

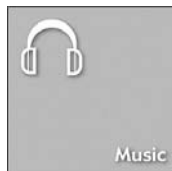
［CD バスケットへ追加］を選ぶ

2. ［CD バスケットへ追加］を選びます。さらにアルバムを追加するには、手順1－2を繰り返します。

［CD バスケットを開く］を選ぶ

3. アルバムを選び終わったら、ツールメニューから［CD バスケットを開く］を選びます。

［書き込み］を選ぶ

4. バスケットの内容を確認したあと、ツールメニューから［書き込み］を選びます。

- 曲は選んだ順番に並べられます。あとから曲の順番を変更することはできません。
- ［ジャンル］、［アーティスト］、［プレイリスト］からも選ぶこともできます。
- 曲を直接指定することはできません。

曲のプレイリストを作成する

お好みの曲をプレイリストに追加することができます。

曲を選ぶ

1.

Music モードでプレイリストに追加したい曲を選びます。

［プレイリストに追加］を選ぶ

2.

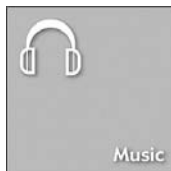
［プレイリストに追加］を選びます。

プレイリストを選ぶ

3.

プレイリスト一覧から追加先を選びます。さらに曲を追加するには手順1-3を繰り返します。

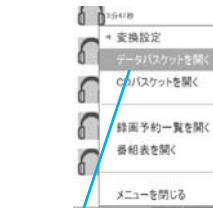
追加情報

- 曲は選んだ順番に並べられます。あとから曲の順番を変更することはできません。
- ［ジャンル］、［アーティスト］、［タイトル］から選ぶと、複数のファイルを一度に選ぶことができます。
- 再生画面のリストで別売のリモコン（CRMシリーズ）のRECボタンを押すと、プレイリストにその曲を追加できます。

パソコンの曲をCD/DVDにバックアップする

パソコンのハードディスク内に保存されている曲を、CDディスクやDVDディスクにオリジナルのファイル形式のまま記録します。

1.

Musicモードでバックアップしたいアルバムを選び、右へ進みます。

［データバスケットへ追加］を選ぶ

2.

［データバスケットへ追加］を選びます。さらにアルバムを追加するには、手順1-2を繰り返します。

［データバスケットを開く］を選ぶ

3.

アルバムを選び終わったら、ツールメニューから［データバスケットを開く］を選びます。

［書き込み］を選ぶ

4.

バスケットの内容を確認したあと、ツールメニューから［書き込み］を選びます。

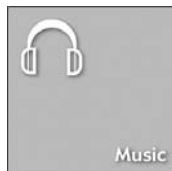
- 曲は選んだ順番に並べられます。あとから曲の順番を変更することはできません。
- ［ジャンル］、［アーティスト］、［プレイリスト］から選ぶこともできます。
- 曲を直接指定することはできません。

写真アルバムにBGMを追加する

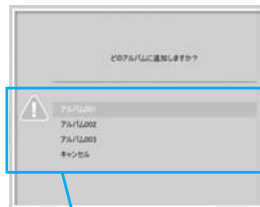
Photo モードで作成した写真アルバムにお好みの曲を付けます。アルバムを表示している間はBGMを流し続けます。

1.

Music モードでBGMにする曲を選び、右に進みます。

［Photo アルバムに追加］を選ぶ

2.

［Photo アルバムに追加］を選んだあと、右に進みます。

アルバムを選ぶ

3.

BGMを付けるアルバムを選びます。

- BGM付きアルバムを作成する場合は、先にPhoto モードでアルバムを作成してください。
- BGMに指定できないファイル形式の曲は、曲名リストに表示されません。

曲を別形式に変換する

曲を別のフォーマットに変換します。

曲を選ぶ

1

Music モードで、フォーマットを変換したい曲を選び、右へ進みます。

フォーマットと音質を選ぶ

2

ツールメニューの[変換設定]から、フォーマットと音質を選びます。

[変換] を選ぶ

3

[変換] を選びます。

Photo モードでできること

FEATHER2005 V2 の Photo モードでは、主に写真（静止画ファイル）に関する操作を行います。

- スライドショーDVD の作成、DVD へのバックアップには記録型 DVD ドライブが必要です。
- CD へのバックアップには記録型 CD ドライブが必要です。
- ライブラリにはマイドキュメントのマイピクチャ内にある写真（静止画ファイル）が自動的に登録されます。特定のファイルを表示するには、PHOTO/MUSIC メンテナンスモードでファイルを登録する必要があります。詳しくはリファレンスマニュアル（PDF）の「2-2 メディア管理ツールを使いこなす」をご覧ください。
- インストール後に初めてPhotoモードを選んだときに、マイピクチャ内に静止画ファイルが存在しない場合は「画像ファイルの検索を行いますか？」というメッセージが表示されます。[実行]を選ぶと、ハードディスク内の静止画ファイルを検索してライブラリに登録します。

Photoモード表示画面

Photoモードで写真を表示すると、次の画面が表示されます。

写真の撮影年月日を表示します。

写真のファイル名を表示します。

音量を増減します（リモコン：L3ボタンで音量が上がり、R3ボタンで下がります）。

メニュー画面を表示します（リモコン：L2ボタン）。

ツールメニューを表示します（リモコン：L1ボタン）。

スライドショーを停止します。

スライドショーを開始（一時停止）します。

前（次）の写真を表示します。

写真を拡大／縮小します。

BGM付きスライドショーの音声を消します。

ループ再生と通常の再生を切り替えます（リモコン：R1ボタン）。

写真を表示する

パソコンのハードディスクやディスクに記録された写真を表示します。

Photo モードを選ぶ

1.

Photo モードを選び、右へ進みます。

日時などを選ぶ

2.

日付やアルバム、メディアなどを選び、右へ進みます。

写真を選ぶ

3.

表示する写真を選び、右へ進みます。

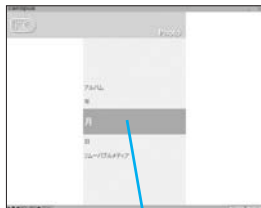
［スライドショーの開始］を選ぶ

4.

［スライドショーの開始］を選ぶと、選択した写真を順に表示します。

- リストにはFEATHER2005 V2で表示可能な写真（静止画ファイル）のみ表示されます。リストに表示されていない写真は、FEATHER2005 V2では表示できないファイル形式です。
- 写真の回転や表示時間の変更は、ツールメニューから行います。別売のリモコン（CRMシリーズ）をお使いの場合は、R2ボタンで写真を右に回転させることができます。

アルバムを作成する

お好みの写真を指定し、アルバムを作成します。

日付などを選ぶ	写真を選ぶ	［アルバムへ追加］を選ぶ	［新しいアルバム］を選ぶ
1. Photoモードで日付やメディアを選び、右へ進みます。	**2.** アルバムに入れたい写真を選び、右へ進みます。	**3.** ［アルバムへ追加］を選びます。アルバムリストが表示されます。	**4.** ［新しいアルバム］を選びます。既存のアルバムに写真を追加するには、アルバムを選びます。

追加情報

- 写真を1枚ずつアルバムに追加するには、スライドショー再生中にツールメニューから［アルバムに追加］を選びます（別売のリモコンの場合はRECボタンを押します。アルバム再生中には使用できません）。
- アルバム名の変更は、Photo/Musicメディア管理ツールから行います。詳しくはリファレンスマニュアル（PDF）の「2-2 メディア管理ツールを使いこなす」をご覧ください。
- アルバムにBGMをつける場合は、「写真アルバムにBGMを追加する」（25ページ）をご覧ください。

スライドショーDVDを作成する

アルバムや動画をメニュー画面・チャプター付きDVDビデオとしてDVDディスクに記録します。記録したDVDディスクは、市販のDVDプレーヤーで再生できます。

写真を選ぶ

1

Photoモードで写真を選び、右へ進みます。

[DVDバスケットへ追加]を選ぶ

2

[DVDバスケットへ追加]を選びます。さらに写真を追加するには、手順1-2を繰り返します。

[DVDバスケットを開く]を選ぶ

3

写真を選び終わったら、ツールメニューから[DVDバスケットを開く]を選びます。

[書き込み]を選ぶ

4

バスケットの内容を確認したあと、ツールメニューから[書き込み]を選びます。

- 1タイトルに追加できる写真の枚数は最大99枚です。99枚を超えると均等に分割されます。
- BGM付きアルバムを選ぶこともできます（BGMが「WMA」または「WAVE」形式のみ)。BGMの長さに合わせてタイトルを自動的に分割します。
- DVDバスケットから写真を削除するには、バスケット内の写真名をダブルクリックします（別売のリモコンの場合はENTERボタンを押します)。

パソコンの写真をCD/DVDにバックアップする

パソコンのハードディスク内に保存されている写真を、CDディスクやDVDディスクにオリジナルのファイル形式のまま記録します。

1 Photoモードで写真を選び、右へ進みます。

2 [データバスケットへ追加]を選びます。さらに写真を追加するには、手順1-2を繰り返します。

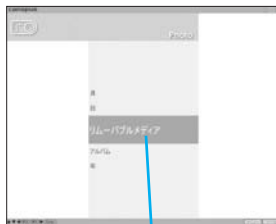
3 写真を選び終わったら、ツールメニューから[データバスケットを開く]を選びます。

4 バスケットの内容を確認したあと、ツールメニューから[書き込み]を選びます。

データバスケットから写真を削除するには、バスケット内の写真名をダブルクリックします（別売のリモコンの場合はENTERボタンを押します）。

デジタルカメラからパソコンに写真を保存する

デジタルカメラで撮影した写真をパソコンにコピーします。

1. デジタルカメラをパソコンと接続します。

［リムーバブルメディア］を選ぶ

2. Photoモードで［リムーバブルメディア］を選び、右へ進みます。

カメラのドライブを選ぶ

3. デジタルカメラのドライブを選び、右へ進みます。

［ライブラリへ追加］を選ぶ

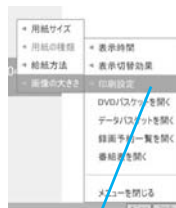
4. ［ライブラリへ追加］を選びます。

- デジタルカメラから写真を保存するには、ストレージクラスに対応した（パソコンに接続したときにリムーバブルディスクとして認識される）カメラ、またはメモリリーダーが必要です。
- ［アルバムへ追加］を選ぶと、アルバムへ追加されると同時にライブラリ（Photo/Music メディア管理ツール）へも登録されます。

写真を印刷する

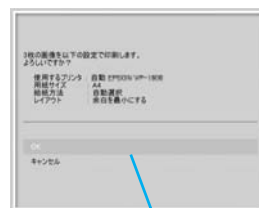
写真（静止画ファイル）をプリンタで印刷します。あらかじめプリンタをパソコンに接続しておいてください。

写真を選ぶ

1. Photoモードで写真を選び、右へ進みます。

［印刷設定］を選ぶ

2. ツールメニューから［印刷設定］を選び、用紙サイズや画像の大きさなどを設定します。

［印刷］を選ぶ

3. 上下に進んで［印刷］を選びます。

［OK］を選ぶ

4. 印刷設定を確認し、［OK］を選びます。

- 写真を1枚ずつ印刷する場合は、スライドショー再生中にツールメニューから［印刷］を選びます。
- 使用するプリンタの変更や詳細な印刷設定は、［FEATHER設定］画面で行います。詳しくはリファレンスマニュアル（PDF）の第4章「■［Photo印刷設定］」をご覧ください。

CD/DVDモードでできること

FEATHER2005のCD/DVDモードでは、主にCD/DVDディスクに関する操作を行います。

- CDを再生する、もしくはCDからパソコンに録音するには、CDドライブが必要です。
- DVDを再生するには、DVDドライブが必要です。
- 音楽を聴きながらスライドショーを再生することができます。再生中に画面右下の[メニュー](別売のリモコンの場合はL2ボタン)を選択するとメニュー画面が表示されますので、Photoモードで[スライドショーの開始]を選択してください。
- FEATHER2005 V2 Premium Edition以外をお使いの場合、曲名を表示させるには別売のCDDB対応キットが必要です。

CD モード再生画面

CD/DVD モードで CD ディスクを再生すると、次の画面が表示されます。

再生中の曲（トラック）を示します。

ループ再生と通常の再生を切り替えます（リモコン：R1 ボタン）。

メニュー画面を表示します（リモコン：L2 ボタン）。

再生を停止します。

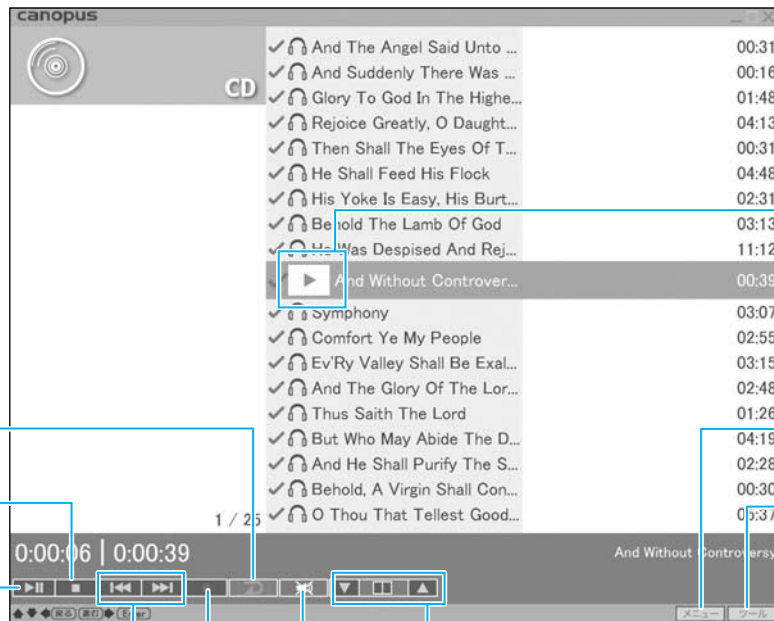
ツールメニューを表示します（リモコン：L1 ボタン）。

再生を開始（一時停止）します。

前／次の曲（トラック）を再生します。

音声を消します。

音量を増減します。

チェックが入った曲（トラック）をパソコンに録音します。

CDを再生する

CDディスクに記録された音楽を再生します。

1. CDディスクをパソコンにセットします。

2. CD/DVDモードを選びます。

3. [CD]を選びます。
曲（トラック）の一覧が表示され、自動的に再生が始まります。

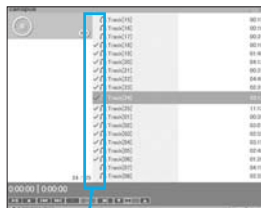
自動的に再生が始まらない場合は、曲を選んで再生ボタンを押します。

- FEATHER2005 V2 Premium Editionをお使いの場合、もしくは別売のCDDB対応キットをお使いの場合は、曲名を表示させることができます。
- CDディスクを入れ替えたときは、ツールメニューから[トラック情報更新]を選んでください。再度CDディスクの情報を読み込みます。

CD からパソコンに録音する

CDディスクに記録されている音楽をパソコンに録音します。

1

CD/DVD モードで[CD]を選びます。

2

録音する曲（トラック）にチェックを入れます。

3

ツールメニューの[取り込み設定]からフォーマットと音質を選びます。

4

録音ボタンを押すと、チェックが入った曲を取り込みます。

- 録音されたファイルは、自動的にライブラリ（Photo/Music メディア管理ツール）に追加されます。
- 別売のリモコンをお使いの場合は、右ボタンでチェックの ON/OFF、[REC] ボタンで録音ができます。

DVDモード再生画面

CD/DVDモードでDVDディスクを再生すると、次の画面が表示されます。

音量を増減します。

メニュー画面を表示します（リモコン：L2ボタン）。

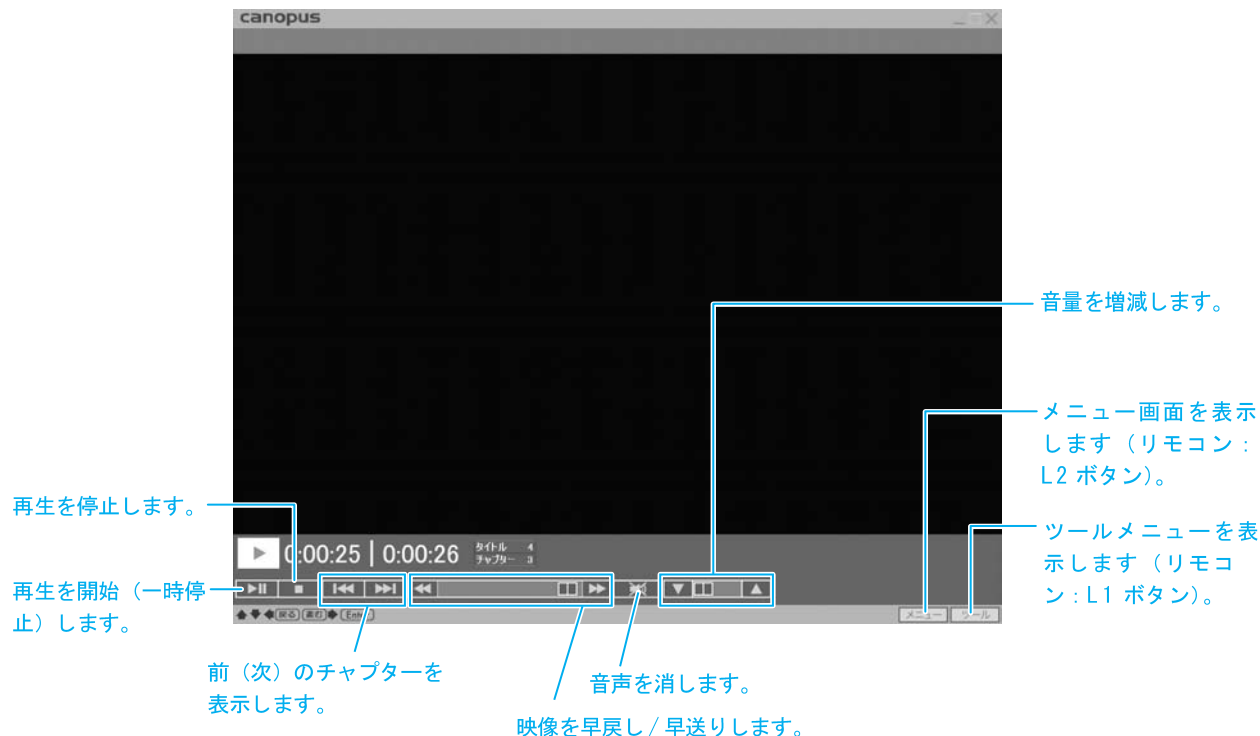
ツールメニューを表示します（リモコン：L1ボタン）。

再生を停止します。

再生を開始（一時停止）します。

前（次）のチャプターを表示します。

音声を消します。

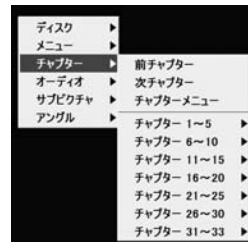
映像を早戻し／早送りします。

DVD を再生する

DVD ディスクに記録された映像を再生します。市販の DVD-Video も再生できます。

1. DVD ディスクをパソコンにセットします。

2. CD/DVD モードで[DVD]を選びます。自動的に再生が始まります。

[DVD] を選ぶ

再生ボタンを押す

自動的に再生が始まらないときは、再生ボタンを押します。

画面上で右クリックすると、チャプターやメニューを指定して再生できます。

別売のリモコン（CRM シリーズ）をお使いの場合は、R1 ボタンを押すとチャプターメニューやタイトルメニューを選ぶことができます。

TV モードでできること

FEATHER2005 V2 の TV モードでは、主にテレビ視聴に関する操作を行います。

- TV モードをお使いいただくには、FEATHER2005 V2 対応の当社チューナー製品が必要です。
- ２画面モードで表示している場合、操作の対象となる画面を選んでから操作してください（2 画面モードで表示するには、当社チューナー製品 MTVX-WHF が必要です）。
- 対応機種の最新情報については、当社ホームページ http://www.canopus.co.jp をご覧ください。

TV モード表示画面

TV モードでテレビ番組を表示すると、次の画面が表示されます。

canopus

2
NHK総合

チャンネルを表示します。

タイムシフトを開始します。

主/副/主+副音声を切り替えます。

追っかけ再生を開始します。

音声を消します。

チャンネルを切り替えます。

外部入力とテレビを切り替えます。

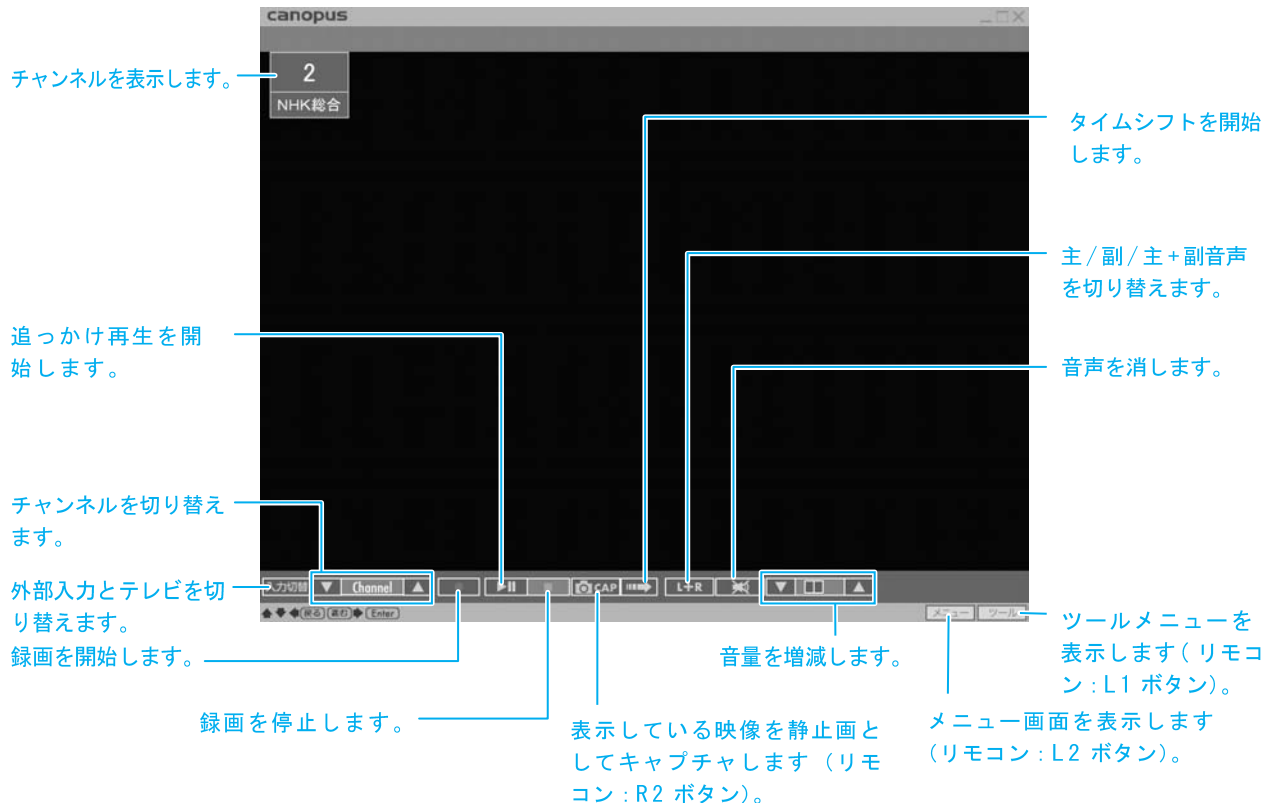
録画を開始します。

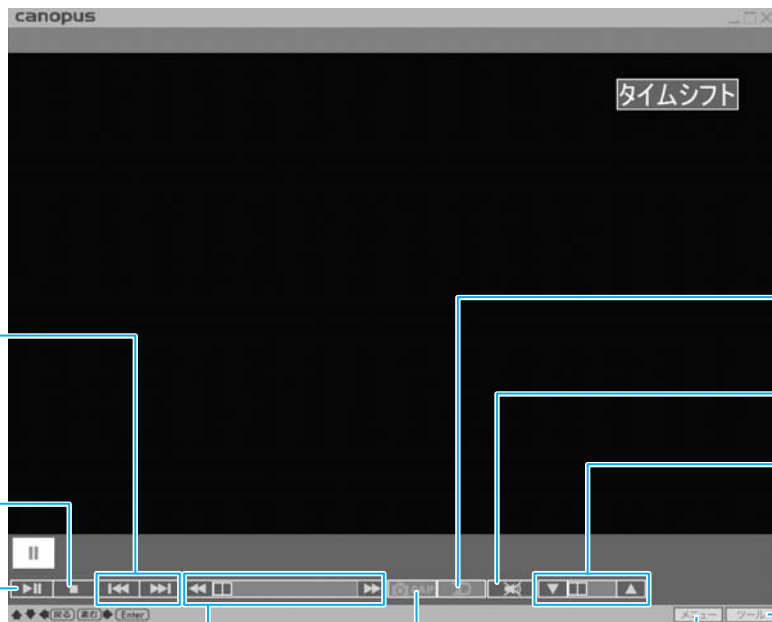
音量を増減します。

ツールメニューを表示します(リモコン:L1 ボタン)。

録画を停止します。

表示している映像を静止画としてキャプチャします(リモコン:R2 ボタン)。

メニュー画面を表示します(リモコン:L2 ボタン)。

TV モード表示画面（タイムシフト時）

TV モードでタイムシフト機能を使うと、次の画面が表示されます。

タイムシフト再生または追っかけ再生中に、一定間隔で早戻し/ 早送りします（ジャンプ）。

タイムシフト再生または追っかけ再生を停止します。

タイムシフト再生または追っかけ再生を開始します。

ループ再生と通常の再生を切り替えます。

音声を消します。

音量を増減します。

ツールメニューを表示します（リモコン：L1 ボタン）。

表示している映像を静止画としてキャプチャします（リモコン：R2 ボタン）。

タイムシフト再生または追っかけ再生中に、早戻し/ 早送りします。

メニュー画面を表示します（リモコン：L2 ボタン）。

2画面モード表示画面

2画面モードでテレビ番組を表示すると、次の画面が表示されます。

canopus

MTVX-WHF(1-B)

現在、選択されているチューナーを表示します。

タイムシフトを開始します。

主/副/主+副音声を切り替えます。

追っかけ再生を開始します。

音声を消します。

チャンネルを切り替えます。

外部入力とテレビを切り替えます。

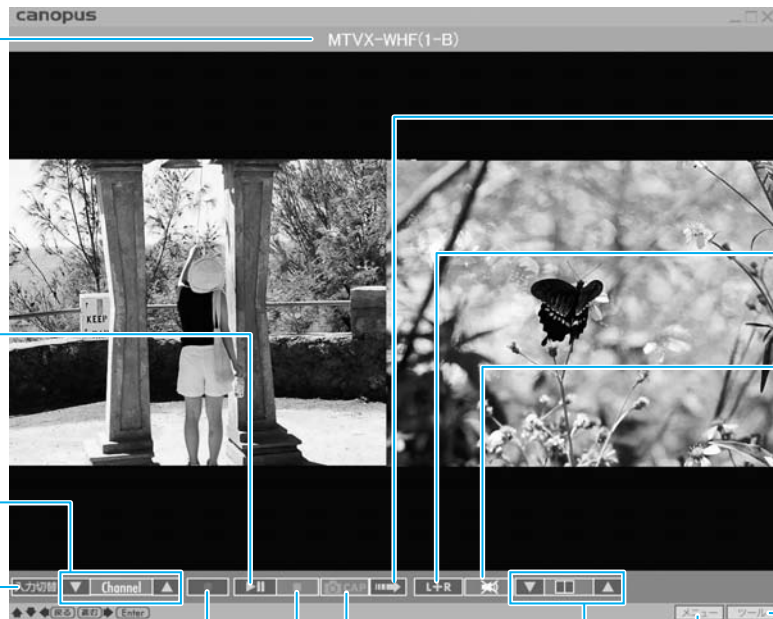
録画を開始します。

音量を増減します。

ツールメニューを表示します（リモコン：L1 ボタン）。

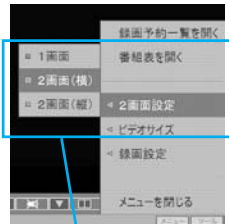
録画を停止します。

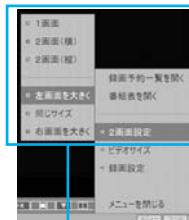
表示している映像を静止画としてキャプチャします（リモコン：R2 ボタン）。

メニュー画面を表示します（リモコン：L2 ボタン）。

2画面モードで表示する

当社チューナー製品MTVX-WHFをお使いの場合は、2つの番組を同時に視聴・録画することができます。

TVモードを選ぶ

1. TVモードを選びます。

2画面表示を選ぶ

2. ツールメニューの[2画面設定]から[2画面(縦)]または[2画面(横)]を選びます。

表示サイズを選ぶ

3. ツールメニューの[2画面設定]から、画面の表示サイズを選びます。

4. チャンネルや音量を変えるときは、対象となる画面を選んでから操作します。

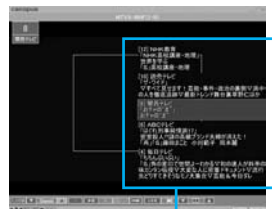
- MTVX-WHFを複数枚使用しているときは、2画面モードで表示できません。
- 別売のCRM2005(リモコン)をお使いの場合は、上下ボタンで操作の対象となる画面を切り替えることができます。

テレビを見る

受信中のテレビ番組を表示します。テレビ番組を正しく表示するには、お住まいの地域に合った受信チャンネルの設定が必要です。詳しくはリファレンスマニュアル（PDF）の「1-1　チャンネルを設定（登録）する」をご覧ください。

1

TVモードを選びます。テレビ番組が表示されます。

チャンネルを変更するには、チャンネルボタンの三角マークをクリックします。

チャンネルを変更すると、現在放送中の各チャンネルの番組情報が表示されます。

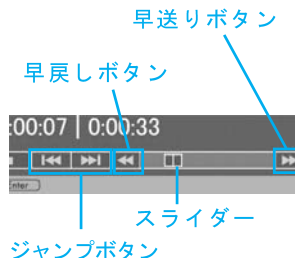
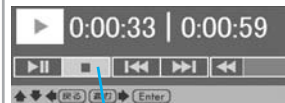
音量を調整するには、ボリュームボタンの三角マークをクリックします。

- 別売のリモコン（CRMシリーズ）をお使いの場合は、左右ボタンでチャンネル変更、上下ボタンで音量変更ができます。
- FEATHER2005 V2 Premium Edition以外をお使いの場合、テレビ番組情報を表示するには、EPG拡張キットが必要です。

テレビ番組を一時停止する（タイムシフト再生）

テレビ映像を一時停止させておき、一時停止を解除するとその場面から再生を始めます。

1. テレビを見ているときにタイムシフトボタンを押します。テレビ映像が一時停止します。

2. 再生ボタンを押すと、番組を再開します（タイムシフト再生）。

タイムシフト再生中は、早送り、早戻し、ジャンプが可能です。

3. 停止ボタンを押すと、リアルタイムのテレビ映像に戻ります。

標準設定では、タイムシフト中の映像は保存（録画）されません。ただし設定を変更すると、タイムシフト中の映像を保存したり、タイムシフト時間を延長することができます。詳しくは、リファレンスマニュアル（PDF）の第4章「■[タイムシフト]」をご覧ください。

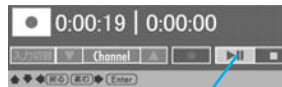
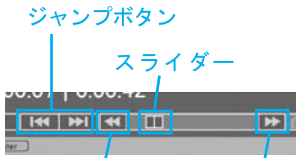
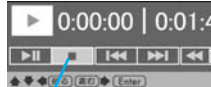
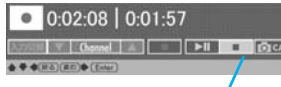
テレビを録画する

FEATHER2005 V2 で表示されているテレビ番組を録画します。

1. TV モードを選びます。テレビ番組が表示されます。

2. 録画ボタンを押すと、録画を開始します。

3. もう一度録画ボタンを押すと、録画時間を設定できます。

4. 停止ボタンを押すと、録画を停止します。

- 録画した番組は、自動的にライブラリ（MEDIA LIBRARY）に登録されます。
- 録画した番組はVideo モードで見ることができます。「動画を再生する」（10 ページ）をご覧ください。
- 当社チューナー製品MTVX-WHF をお使いの場合は、同時に２番組を録画（W録画）することができます。

録画中の番組を最初から見る（追っかけ再生）

録画を継続しながら、すでに録画した部分を最初から見ることができます。

1. 録画中に再生ボタンを押します。最初から再生を始めます（追っかけ再生）。

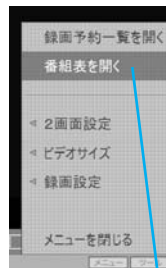
録画が完了している範囲内で早送り、早戻し、ジャンプが可能です。

2. 停止ボタンを押すと、追っかけ再生を停止します（録画は継続）。

3. もう一度停止ボタンを押すと、録画を停止します。

- ジャンプボタンを押すと、30秒分ジャンプします（初期設定）。設定の変更については、リファレンスマニュアル（PDF）の第４章「■[その他]」をご覧ください。
- 録画画質の変更は、ツールメニューから行います。

電子番組表を利用して録画予約する（iEPGサービス＋リモコンEPG）

インターネットの電子番組表を使って録画予約します。

［番組表を開く］を選ぶ

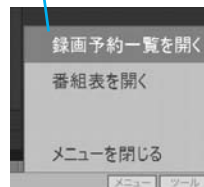
1. ツールメニューから［番組表を開く］を選びます。

番組を選ぶ

2. 番組表から予約する番組を選びます。

［録画予約を追加する］を選ぶ

3. 上記画面が表示されますので、［録画予約を追加する］を選びます。

［録画予約一覧を開く］を選ぶ

4. 録画予約を確認するには、ツールメニューから［録画予約一覧を開く］を選びます。

追加情報

- 別売のリモコン（CRMシリーズ）をお使いの場合は、P2ボタンで番組表が表示されます。
- FEATHER2005 V2 Premium Edition以外をお使いの場合、番組表を１週間分表示させるには、別売のEPG拡張キットが必要です。
- ユーザーアカウントのパスワードが設定されていないと、録画予約が実行できません。詳しくは、「困ったときには」の「■録画予約が実行されない時の確認点」（70ページ）をご覧ください。

録画予約を実行するための注意

録画予約を正しく実行するには、次の条件が必要です。

●パソコンとテレビチューナーユニットの電源を入れておく

録画予約時および録画予約実行時には、パソコンの電源を入れておく必要があります。外付けのテレビチューナーをお使いの場合は、テレビチューナーの電源も入れておいてください。

●パソコンの内蔵時計を調整しておく

あらかじめ、パソコンの内蔵時計を正しい時間に調整しておく必要があります。
調整後は、一度タスクスケジューラを停止し、再開することをお勧めします。

●管理者権限のあるアカウントでログインしておく

録画予約の実行には、管理者権限のあるアカウントでログオンしておく必要があります。

●ユーザー名とパスワードを設定しておく

録画予約の実行には、録画予約が開始される時間にパソコンのタスクスケジューラが復帰できる状態である必要があります。タスクスケジューラの復帰には、Windowsにログオンしたユーザーアカウントのパスワードが必要です。
パスワードが設定されていない場合、録画予約できません。「困ったときには」の「録画予約が実行されない時の確認点」（70 ページ）をご覧ください。

外出先から録画予約する（CiRAgent）

CiRAgentを使って、外出先のパソコンや携帯電話から録画予約します（リモート録画予約）。リモート録画予約については、「リモート録画予約のしくみ」（54 ページ）をご覧ください。

1. 「テレビ王国」にアクセスします。

2. iCommand番組情報から録画したい番組を選びます。

3. 予約が成功すると、予約完了メールが送られてきます。

4. 録画が完了すると、録画終了メールが送られてきます。

- CiRAgentを使うには、あらかじめ各種設定が必要です。設定内容については「CiRAgentの設定手順」（55 ページ）をご覧ください。
- 「テレビ王国」のURLは次のとおりです。ただし予告なく変更される場合があります。
  パソコン：http://www.so-net.ne.jp/tv/　携帯電話：http://imode.so-net.ne.jp/tv/

おまかせ録画する（CiRAgent+ 自動録画サービス）

CiRAgentと「テレビ王国」の自動録画サービスを使って、キーワードで録画予約する番組を指定します。

1. 「テレビ王国」のメンバーサービスページにログインします。

［自動録画サービス設定］を選ぶ

2. ［メンバー登録変更/退会］メニューから［自動録画サービス設定］を選びます。

3. 自動録画サービスが利用できるように設定します。

［自動録画キーワード設定］を選ぶ

4. ［メンバー登録変更/退会］メニューから［自動録画キーワード設定］を選び、キーワードを設定します。

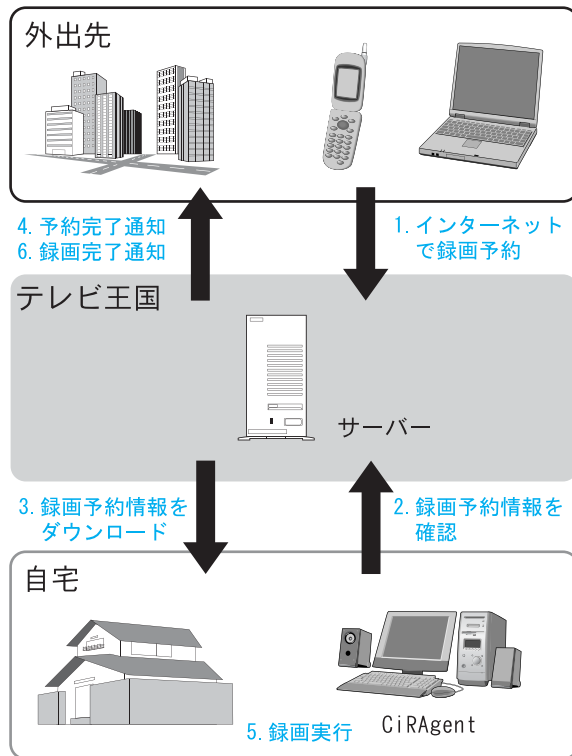
- CiRAgentを使うには、あらかじめ各種設定が必要です。詳しくは「CiRAgentの設定手順」(55ページ）をご覧ください。
- FEATHER2005 V2 Premium Edition以外をお使いの場合は、おまかせ録画キットが必要です。

リモート録画予約のしくみ

携帯電話やインターネットカフェなどの外出先からインターネットを利用し、ご自宅のパソコンにテレビ録画することを「リモート録画予約」と呼んでいます。

FEATHER2005 V2に付属のリモート録画予約ツール「CiRAgent」を使うと、遠方へ外出したときなど携帯電話やパソコンからインターネットを利用し、テレビ番組の予約ができます。

1. インターネット上で録画予約した情報がテレビ王国のサーバーへ登録されます。
2. パソコンにインストールされているCiRAgentが、接続時間になるとインターネットに接続します。
3. テレビ王国のサーバーに登録されている録画予約情報をダウンロードします。
4. iCommandに登録したアドレスに、予約完了のメールが届きます。
5. 予約した時間になると、ご自宅のパソコンが録画を開始します。
6. 録画が完了すると、録画完了の通知メールが届きます。
   録画予約や予約実行に失敗した場合は、その通知メールが届きます。

TVモードを使ってみよう！

CiRAgent の設定手順

CiRAgent を利用して正しく録画予約を実行するには、あらかじめ次の設定が必要です。

1.

インターネットで「テレビ王国」にアクセスし、メンバー登録を行います。

2.

「テレビ王国」にある iCommand 用サイトでメールアドレスを登録します。

3.

Windows の［スタート］メニューから CiRAgent の設定画面を開きます。

4.

「テレビ王国」で登録したユーザーIDやパスワード、サーバーへのアクセス間隔などを設定します。

- CiRAgent 設定画面の詳細については、リファレンスマニュアル（PDF）の「1-3 CiRAgent の設定」をご覧ください。
- 「テレビ王国」の URL は次のとおりです。ただし予告なく変更される場合があります。
  パソコン：http://www.so-net.ne.jp/tv/　携帯電話：http://imode.so-net.ne.jp/tv/

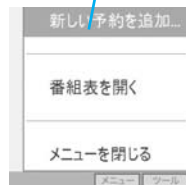
日時とチャンネルを指定して録画予約する

手動で録画予約を設定します。

[録画予約一覧を開く]を選ぶ

1

テレビを見ているときにツールメニューから[録画予約一覧を開く]を選びます。

[新しい予約を追加]を選ぶ

2

ツールメニューから[新しい予約を追加]を選びます。

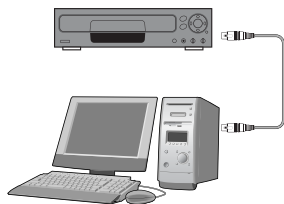
3

上下に進んで項目を選択し、左右で設定を変更します。

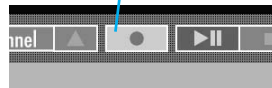
追加情報

- 予約が完了すると、自動的に[予約一覧]に情報が登録されます。[予約一覧]から、登録した録画予約情報を変更・削除することができます。
- ユーザーアカウントのパスワードが設定されていない場合、録画予約できません。詳しくは、「困ったときには」の「■録画予約が実行されない時の確認点」（70ページ）をご覧ください。

外部ビデオデッキの映像を見る・録画する

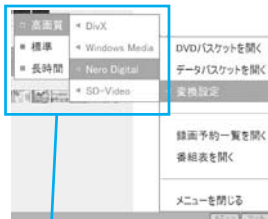
当社チューナー製品を経由して入力された外部ビデオデッキの映像を表示・録画します。

1. 外部ビデオデッキを当社チューナー製品に接続します。

2. TV モードを選び、[入力切替] ボタンを押してビデオ入力に切り替えます。

3. 外部ビデオデッキの再生ボタンを押します。

4. 録画ボタンを押すと、映像を録画します。

・録画した映像は、ライブラリ（MEDIA LIBRARY）に自動的に登録されます。
・録画した映像を見るには、「動画を再生する」（10 ページ）をご覧ください。

録画中の番組を別の形式に変換する

録画中のテレビ番組を、別のフォーマットに変換します（追っかけ変換）。

フォーマットと画質を選ぶ

1

Video モードのツールメニューから［変換設定］を選び、フォーマットと画質を選びます。

録画ボタンを押す

2

TV モードで録画する番組を表示し、録画ボタンを押します。

［追っかけ変換］を選ぶ

3

ツールメニューから［追っかけ変換］を選びます。

［追っかけ変換停止］を選ぶ

4

追っかけ変換を停止するには、ツールメニューから［追っかけ変換停止］を選びます。

- 録画を停止した後、変換を中止したい場合は、Videoモードで変換中のファイルを選び、[変換を中止する]を選びます。
- 「DivX」、「WMV」、「SD-Video」に変換するには、別売のX Pack シリーズまたは変換キットが必要です。

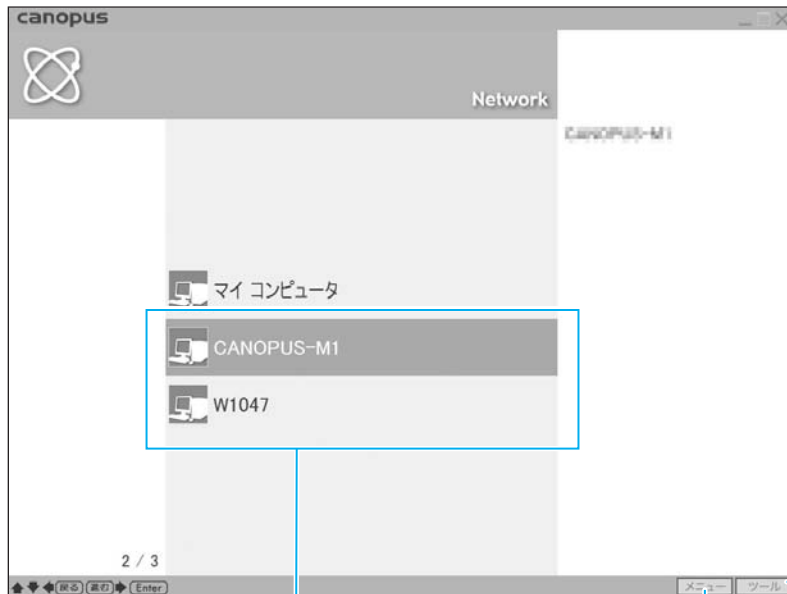
Network モードでできること

Network モードでは、Video モード、Music モード、Photo モード、TV モードの各機能をネットワーク経由で使用できます。ただし、クライアント用のシリアルナンバーでインストールした FEATHER2005 V2 からでは、使用できる機能に制限があります。

- Network モードをお使いいただくには、同一ネットワーク内のパソコンに FEATHER2005 V2 がインストールされている必要があります。また、[FEATHER 設定] 画面でネットワークグループを設定する必要があります（初めて起動したときに設定済みの場合は不要）。設定方法については、リファレンスマニュアル（PDF）の第 4 章「■[ネットワーク設定]」をご覧ください。
- CD/DVD モードはネットワーク経由でお使いいただけません。
- Network モード使用時には、ネットワークトラフィックにより、再生が中断したり一時的に途切れたりすることがあります。
- ネットワーク経由で、CD/DVD/データバスケットにファイルを追加することができます。バスケット内のデータをディスクに記録する場合は、記録する前にクライアント側のパソコン内にデータをコピーします。

ネットワークサーバー選択画面

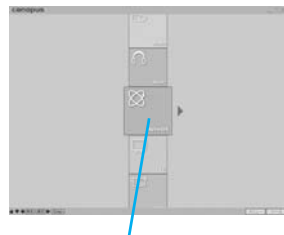
Network モードを選ぶと、次の画面が表示されます。

canopus
Network
マイ コンピュータ
CANOPUS-M1
W1047
2 / 3

ツールメニューを表示します。

ネットワークで繋がっているパソコン名を表示します。

メニュー画面を表示します。

ネットワーク経由で動画を再生する

同じネットワーク内にあるパソコンの動画を再生します。

1.

Networkモードを選び、右へ進みます。

2.

動画を保存しているパソコンを選びます。

3.

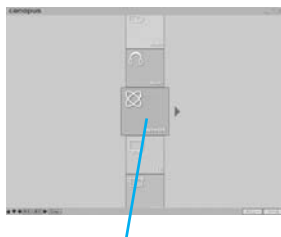
メニュー画面とネットワークアイコンが表示されます。

4.

Videoモードを選び、右へ進みます。その後は、通常のVideo モードと同じ操作を行います。

- ネットワーク経由では、動画の削除やファイル形式の変換はできません。また、早送り/早戻しは最大 10 倍速までに制限されます（音声も出力されません）。
- 再生できるファイル形式は、通常の Video モードと同様です。

ネットワーク経由で曲を再生する

同じネットワーク内にあるパソコンの曲を再生します。

1

Networkモードを選び、右へ進みます。

2

曲を保存しているパソコンを選びます。

3

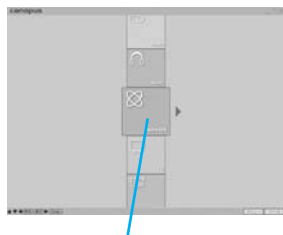
メニュー画面とネットワークアイコンが表示されます。

4

Musicモードを選び、右へ進みます。その後は、通常のMusicモードと同じ操作を行います。

- ネットワーク経由では、曲の削除やファイル形式の変換はできません。また、早送り/早戻しは最大10倍速までに制限されます（音声も出力されません）。
- 再生できるファイル形式は、通常のMusicモードと同様です。

ネットワーク経由で写真を表示する

同じネットワーク内にあるパソコンの写真を表示します。

1.

Networkモードを選び、右へ進みます。

2.

写真が保存されているパソコンを選びます。

3.

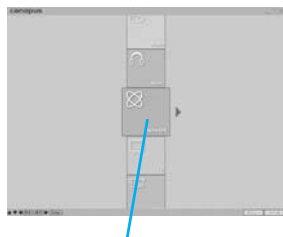
メニュー画面とネットワークアイコンが表示されます。

4.

Photoモードを選び、右へ進みます。その後は、通常のPhotoモードと同じ操作を行います。

- ネットワーク経由では、アルバムの削除や追加はできません。
- 表示できるファイル形式は、通常のPhotoモードと同様です。

ネットワーク経由でテレビを見る・録画する

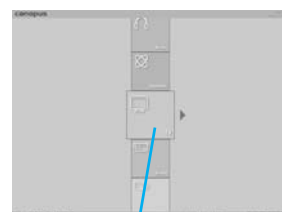
同じネットワーク内にある当社チューナー製品からのテレビ映像を表示します。

1.

Network モードを選び、右に進みます。

2.

チューナー製品を装着しているパソコンを選びます。

3.

メニュー画面とネットワークアイコンが表示されます。

4.

TVモードを選び、右へ進みます。その後は、通常のTVモードと同じ操作を行います。

- 画質は、ツールメニューから「高画質」「標準」「簡易」を選択できます（「お好み」は選択できません）。
- ネットワーク経由では、手動録画（「テレビを録画する」48ページ）のみ可能です。
- ネットワーク経由でも録画予約の閲覧、予約追加、削除、変更は可能です。

困ったときには

■テレビ番組やビデオファイルの再生

Q 画面がマゼンタ（ピンク）色や黒一色で表示されたり、FEATHER2005 V2の起動時に次のようなエラーが出ます。
「オーバーレイが表示できない解像度、または環境になっています。」
「オーバーレイが作成できません。アプリケーションを終了します。」

A ご使用のグラフィックカードでオーバーレイ表示機能が使用できなくなっている可能性がありますので、下記内容をご確認ください。

1. 他のアプリケーションですでにオーバーレイ表示を行っている場合は、そのアプリケーションを終了してください。
2. お使いのグラフィックカードで、オーバーレイ可能な解像度、リフレッシュレートが限定されている可能性があります。解像度、リフレッシュレート値を下げてお試しください。
3. ご使用のOSに正式対応した最新のグラフィックカードのドライバに更新してください。
4. 常駐ソフトウェアなどで、常にオーバーレイ表示を行っているケースがあります。終了可能な常駐ソフトウェアをすべて終了してください。
5. マルチモニタ使用時、グラフィックカード側でオーバーレイ表示ができないケースがあります。ご使用のグラフィックカードメーカーにお問い合わせください。
6. オーバーレイ表示をするために、グラフィックカードの設定変更が必要な場合があります。メーカーに、オーバーレイ表示可能かどうか、またその設定などについてお問い合わせください。

Q テレビ画像をパソコン上で表示すると、両サイドに黒い帯のようなノイズが表れます。正常でしょうか？

A 場合によっては画面の左右（時には周囲）に黒い映像やノイズのような映像が表示されることがあります。これは、映像信号自体に含まれているもので、当社製品ではこの部分も表示されます。この映像信号をテレビで見た場合表示されないのは、テレビが映像全体を表示しないためです。

Q タイムシフトや追っかけ再生時に、テレビの音声がミュートされずに重なって聞こえます。

A タイムシフトや追っかけ再生を行うと、ボリュームコントロールから接続されている端子をミュートすることにより、テレビからの音声が出力されない状態になります。
正常にミュートされない場合は、FEATHER2005 V2の音声/ミュート設定が正常でない可能性があります。FEATHER2005 V2の詳細設定より、LINE-OUTを接続しているコントロールを、サウンドボードと接続されているコントロールに変更してください。

Q 再生時の音量が小さくなります。調整方法はありますか？

A MTVXシリーズの録音時の音量は、VTRなどの映像機器で標準的な数値（2[Vrms]）に設定されています。
再生時の音量はWAVEオーディオでコントロールできますので、ボリュームコントロールの再生コントロールで音量を調整してください。また、サウンドカードによってはLINE INやAUXの音量が大きめになっていることがありますので、こちらについても同じく再生コントロールで音量を絞っていただき、WAVEの音量とのバランスをとってください。
録音レベルが適正であるかどうかの基準としては、DVDソフトを再生させたときの音量と比べてください。

●調整例

1. 1分程度、録画します。
2. 録画した映像を再生しながら、ボリュームコントロールでWAVEのボリュームとマスタボリュームを調整します。
3. テレビ番組を表示し、ボリュームコントロールでLINE IN（もしくは接続されているライン）のボリュームを適当な音量になるように調整します。

Q ネットワーク経由で番組情報が表示されません。

A FEATHER2005 Premium Editionをお使いの場合、もしくはEPG拡張キットをお使いの場合は、ネットワーク経由でも番組情報や番組表が表示されます。クライアント側の[FEATHER設定]画面にある[TVチャンネル登録]で受信地域やチャンネルを設定すると表示されるようになります。

■テレビ音声が出ない場合の確認点

Q テレビ視聴時に音が出ません。どのような点を確認すれば良いでしょうか。

A 当社テレビチューナー製品でテレビの音声が出ない場合、下記内容をご確認ください。

Ⅰ．当社製品とサウンドカードのオーディオケーブル接続（内部接続もしくは、外部接続）
Ⅱ．サウンドカードの音声再生設定
Ⅲ．スピーカーの確認

Ⅰ．当社製品とサウンドカードのオーディオケーブル接続

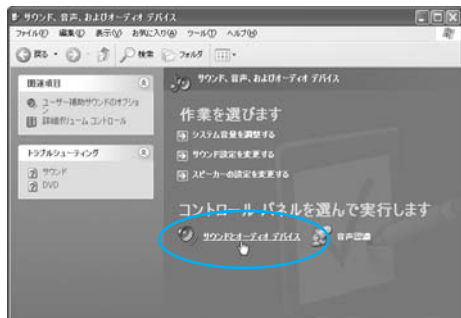
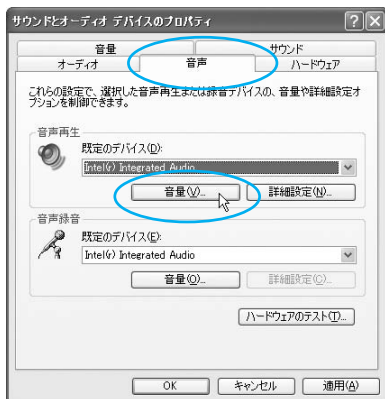
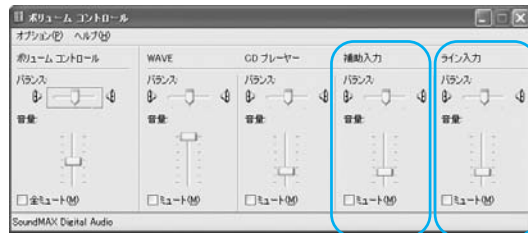
詳細な接続手順は、当社ホームページ「よくあるお問合せ」(http://www.canopus.co.jp/tech/faqid/faq000550.htm)をご覧ください。

Ⅱ．サウンドカードの音声再生設定

※ ご使用のパソコンのサウンドカードによっては、設定手順が異なる場合あります。その場合は、ご使用のパソコン（サウンドカード）のマニュアルをご覧になるか、メーカーまでお問い合わせください。

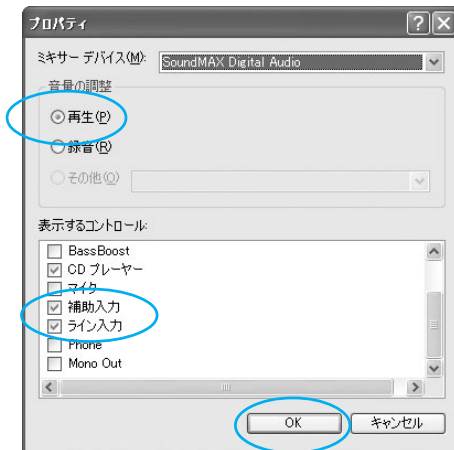
1. ［スタート］ボタンをクリックし、［コントロール パネル］をクリックします。

2. ［サウンド、音声、およびオーディオ デバイス］をクリックします。

3. [サウンドとオーディオ デバイス]をクリックします。

4. [音声]タブをクリックし、[音声再生]グループの[音量]ボタンをクリックします。

5. サウンドカードに接続されている端子の[ミュート]にチェックが入っていないこと、音量レベルが適切である（最小になっていないこと）ことを確認します（外部接続の場合は、[ライン入力]、内部接続の場合は、[補助入力]の項目を確認します）。

※ [ボリュームコントロール]内に、[ライン入力]、[補助入力]の項目が見当たらない場合は、下記の手順にしたがって表示させてください。

1. [オプション]メニューから[プロパティ]をクリックします。

困ったときには

2. [音量の調整]の[再生]にチェックを入れ、[表示するコントロール]内の[ライン入力]と[補助入力] にチェックを入れたあと、[OK]ボタンをクリックします。

3. [ボリュームコントロール]内に、[ライン入力]と[補助入力]の項目が表示されることを確認します。

●オンキヨー社製「SE-80PCI」使用の場合

オンキヨー社製「SE-80PCI」は、デフォルトの設定でLINE IN端子経由の音声がLINE OUT端子から出力されない設定となっています。ボリュームコントロールで設定を変更すると、音声出力が可能となります。
詳細な設定方法は、以下のオンキヨー株式会社 PCオーディオ製品サイト内のFAQからSE-80PCIを選択し、「再生に関して」のQ2をご参照ください。

オンキヨー株式会社 PCオーディオ製品サイト
http://www.wavio.net/

Ⅲ. スピーカーの確認

USBスピーカー/USBオーディオユニットには対応しておりません。
ご使用のサウンドカードに、スピーカーを接続されてお使いください。
※ ご使用のUSBスピーカー/USBオーディオユニットにアナログ入力端子がある場合は、TVチューナ製品本体との外部接続をお試しください。

■録画予約が実行されない時の確認点

録画予約が実行されません。どのような点を確認すれば良いでしょうか。

A

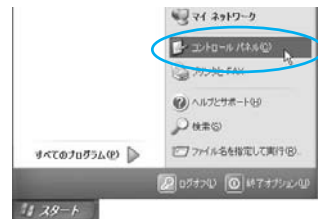
Windows XP をお使いの場合、録画予約を実行するには下記条件が必須となります。

Ⅰ．　ご使用のユーザーアカウントの種類が、管理者権限である。

Ⅱ．　ご使用のユーザーアカウントにて、パスワードを設定する。

Ⅲ．予約録画設定時に、Ⅱ．のパスワードを設定する。

下記手順に沿って、これら３つの条件が満たされていることをご確認ください。

ユーザーアカウント種類の確認及び、パスワード設定方法

1.　[スタート]ボタンをクリックします。

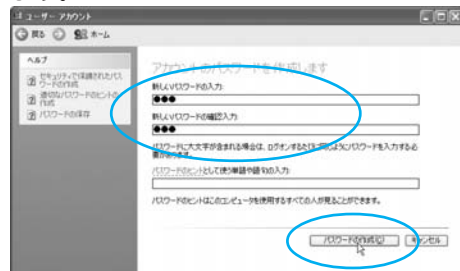
上記画面が表示されますので、ご使用のユーザーアカウント（四角い枠の部分）を確認します（サンプルの画像はCanopusとなっていますが､お客様が使用されているアカウント名がここに表示されます）。

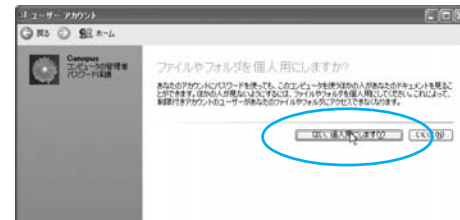
2.　[コントロールパネル]をクリックします。

3.　[ユーザーアカウント]をクリックします。

4. ご使用のユーザーアカウント名の下に「コンピュータの管理者」の記載があることを確認し、1. で確認したユーザーアカウント名をクリックします。

5. [パスワードを作成する]をクリックします。

6. [新しいパスワードの入力]、および[新しいパスワードの確認入力]に任意のパスワードを入力し、[パスワードの作成]ボタンをクリックします。

※ パスワードは、大文字・小文字を区別しますので、大文字・小文字のどちらで入力されたかも含めて、お忘れにならないようにメモを取ってください。

7. 下記画面が表示される時は、[はい、個人用にします]ボタンをクリックします。

8. ご使用のユーザーアカウント名の下に「パスワード保護」の記載があることを確認し、[×]ボタンをクリックします。

以上で、ユーザーアカウント種類の確認、およびパスワードの設定作業は完了です。

予約録画設定時のパスワード設定方法

1. 予約録画設定中の下記画面で[次へ]ボタンをクリックすると、パスワード設定画面が表示されます。

パスワードがすでに設定されている場合は、[設定]ボタンをクリックすると、パスワード設定画面が表示されます。

2. 表示されたパスワード設定画面の入力項目にユーザー名、パスワードを入力し、[OK]ボタンをクリックします。

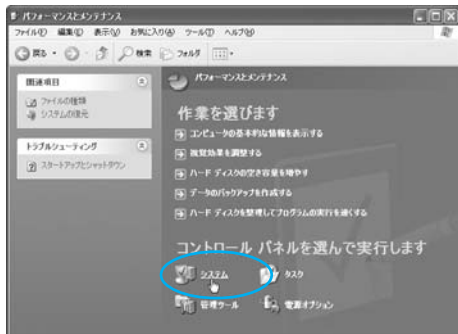
ユーザー名※：
[コンピュータ名]¥[ユーザー名]が表示されていることを確認します。
パスワード：
[ユーザーアカウント種類の確認及び、パスワード設定方法]で、設定されたパスワードを入力します。
パスワードの確認入力：
同じパスワードを入力します。

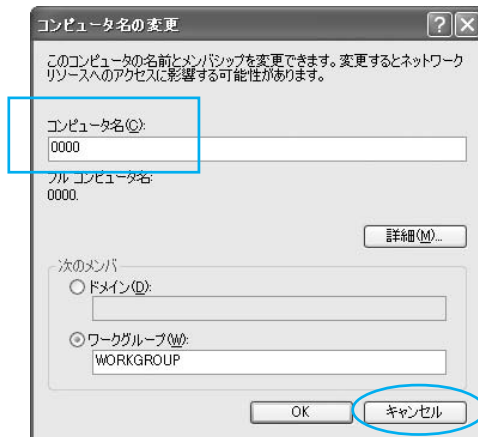
※ [コンピュータ名]は、[コンピュータ名の確認方法]で確認の上、ご使用のコンピュータ名と同じであること。
※ [ユーザー名]は、[ユーザーアカウント種類の確認及び、パスワード設定方法]の1のユーザー名と同じであること。

コンピュータ名の確認方法

1. [スタート]ボタンをクリックし、[コントロールパネル]をクリックします。

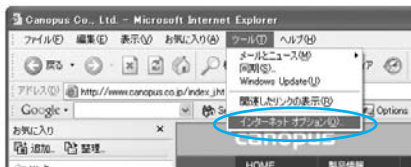
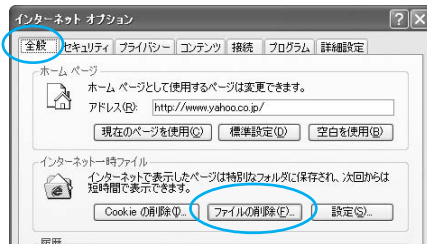
2. [パフォーマンスとメンテナンス]をクリックします。

3. [システム]をクリックします。

4. [コンピュータ名]タブをクリックして、[変更]ボタンをクリックします。

5. コンピュータ名（四角い枠の部分）を確認します。確認後は[キャンセル]ボタンで閉じてください。

■ iEPG での予約

Q 「指定されたファイルが見つかりません」というエラーメッセージが表示される。もしくは、何も反応がありません。

A お使いのブラウザのインターネット一時ファイルを削除してください。
※ ここでは、Internet Explorer の場合について説明します。その他のブラウザについては、ヘルプなどをご確認のうえ操作を行ってください。

1. Internet Explorer を起動し、[ツール]→[インターネットオプション]をクリックします。「インターネットオプション」ウィンドウが表示されます。

2. [全般]タブを選択し、インターネット一時ファイルの[ファイルの削除]ボタンをクリックします。

3. 「ファイルの削除」のウィンドウが表示されますので、「すべてのオフラインコンテンツを削除する」にチェックを入れ、[OK]ボタンをクリックします。

4. Internet Explorer を再起動します。

Q ファイルを保存するかどうかのメッセージが表示され、予約設定画面に移行しません。

A FEATHER2005 V2（システムトレイの羽根アイコン）を右クリック→[設定]→[オプション設定]→[番組情報]タブより[iEPGで予約を追加できるように拡張子を関連付ける]にチェックを入れてください。

Q 「受信チャンネルが特定できません。（放送局名）が登録されていることを確認してください。」というエラーメッセージが表示される。

A [TVチャンネル登録]に予約したチャンネルの放送局名が正しく登録されていません。
※ 入力文字の半角全角が異なっていたり、余分なスペースがあると、正しく認識されず同様のメッセージが表示されますので、お間違えのないようご注意ください。

■受信チャンネルの設定

Q 自分の住んでいる地域が一覧に表示されません。どのように設定すればよいでしょうか？

A MTVXシリーズの製品は、日本国内の全ての地域の受信情報を持ち合わせておりません。選択肢の一覧にお住まいの地域が表示されない場合は、[自動受信による登録] ボタンをクリックして受信可能なチャンネルを検出してください。

■コピーワンス(CGMS-A)録画対応について

Q コピーワンス信号（CGMS-A）を含む映像が、他のパソコンで再生できません。

A 外部入力端子からコピーワンス信号（CGMS-A）が含まれる映像の録画を行った場合、従来のビデオファイルと区別するために M2D ファイル（拡張子 .m2d）が録画ファイルとして作成されます。作成した M2D ファイルは、録画に使用した当社チューナー製品と FEATHER2005 V2 がインストールされた環境でのみ再生することができます。

■M2D ファイルについて

Q M2D ファイルの保存場所を移動させることはできますか？

A 録画を行ったパソコン内に接続されたハードディスクであれば、M2D ファイル保存先を変更することができます。移動したファイルは、FEATHER2005 V2 で再生させることができます。

Q M2D ファイルを他のパソコンで再生したいのですが？

A M2D ファイルは、録画を行ったキャプチャボードが装着された環境でのみ再生できます。キャプチャを行ったキャプチャボードが装着されていないパソコン環境では再生できません。

Q M2D ファイルを DVD-Video にしたいのですが？

A 録画したビデオファイルは、DVD プレイヤーなどでは再生できません。ただし、DVD メディアなどへ保管したファイルは、録画時に使用した当社チューナー製品が装着されたシステムであれば、FEATHER2005 V2 で再生できます。

困ったときには

Q M2Dファイルを編集したり、DivX Videoなど他の形式に変換したいのですが？

A M2DファイルをMpegCraftやX-Transcoderなどを使って編集したり、他形式へ変換することはできません。

Q M2DファイルをDigitalVideoPlayer やVideoGate1000 でTVへ出力することはできますか？

A FEATHER2005 V2では、VideoGate1000やDigitalVideoPlayerの機能を使用して、再生させたM2DファイルのTV出力はできません。

「困ったときには」に記載されていない内容については、当社ホームページ「よくあるお問合せ」（http://www.canopus.co.jp/tech/faq/faq.htm）をご覧ください。

機能一覧対応表

FEATHER2005 V2は、様々な機能をオプションキットにより追加できるようになっています。
本マニュアルは、すべての機能をお使いいただけるPremium Editionをベースに作成しておりますので、お客様がお持ちのオプションキットによってはお使いいただけない機能もございます。

	FEATHER2005 V2 Premium Edition	MTVX2004 + FEATHER2005 V2	そのほかのMTVXシリーズ + FEATHER2005 V2
■CD/DVDモード			
DVD再生	○	○	○
CD再生	○	○	○
CDからのWAVE録音	○	○	○
CDからのWMA録音	○	○	○
曲名の表示	○	△※1	△※1
■TVモード			
TV表示	△※2	○	○
TV録画	△※2	○	○
おまかせ録画	○	△※3	△※3
週間番組表表示	○	△※4	△※4
番組情報表示	○	△※4	△※4
■Videoモード			
MPEG4変換	○	×	×
DivX変換	△※5	△※5	△※5
SD-Video変換	△※6	△※6	△※6
WMV変換	△※7	△※7	△※7
MPEG4再生	○	×	×
DivX再生	再生用コーデックがパソコンにインストールされていれば再生できます。		
SD-Video再生	再生用コーデックがパソコンにインストールされていれば再生できます。		

	FEATHER2005 V2 Premium Edition	MTVX2004 + FEATHER2005 V2	そのほかのMTVXシリーズ + FEATHER2005 V2
WMV再生	○	○	○
DVDビデオ作成	○	×	○
CMカット	○	△※8	△※8
編集モード	○	○	○
プロジェクトファイル書き出し	○	○	○
■Musicモード			
MP3再生	○	○	○
WMA再生	○	○	○
WAVE再生	○	○	○
AAC再生	○	×	○
WMA変換	○	○	○
WAVE変換	○	○	○
ファイルからの音楽CD作成	○	×	○
プレイリスト	○	○	○
■Photoモード			
静止画表示	○	○	○
スライドショーDVD作成	○	×	○
アルバム	○	○	○
印刷	○	○	○
■Networkモード			
手動録画	○	○	○

※1 この機能をお使いいただくには、CDDB 対応キットが必要です。
※2 この機能をお使いいただくには、FEATHER2005　V2 対応の当社チューナー製品が必要です。
※3 この機能をお使いいただくには、おまかせ録画キットが必要です。
※4 この機能をお使いいただくには、EPG 拡張キットが必要です。
※5 この機能をお使いいただくには、X　Pack か X　Pack2、または DivX 変換キットが必要です。
※6 この機能をお使いいただくには、X　Pack2 か X　Pack　Plus　Kit、または SD-Video 変換キットが必要です。
※7 この機能をお使いいただくには、X　Pack2 か X　Pack　Plus　Kit、または WMV 変換キットが必要です。
※8 この機能をお使いいただくには、CM 自動検出拡張キットが必要です。

これらのオプションキットは、当社ダイレクトショップよりご購入いただけます。
http://www.canopus.co.jp/dtshop/shopguide.htm

備考

- X Pack か X Pack2、または DivX 変換キットがインストールされると、音楽を MP3 形式に変換することができるようになります。
- MTVX2004+FEATHER2005　V2 をお使いの場合、「×」の機能をお使いいただくには MPEG4+DVD 作成キットが必要です。
- MTVX2004 以外の MTVX シリーズ +FEATHER2005　V2 をお使いの場合、「×」の機能をお使いいただくには MPEG4 作成キットが必要です。